

交流ニュース

新島村立
若郷小学校
交流だより
平成17年7月号

学習で進む「交流」

昨年度までも、新島小学校との交流を、機会をつくって進めてきました。今年度は、これまで以上に新島小学校との交流を盛んに進めていきます。今月より、学校だよりの発行に合わせて、交流での子どもたちの活動の様子を皆様にお伝えしていきます。

一年 生活科の学習

新島小の一・二年生と一緒に淡井浦に行きました。どの子どもも思い思いの絵を描いた段ボールを持ち、砂浜の天然滑り台で楽しみました。その後、砂浜のきれいな貝や石などを拾い、友達と見せ合ったり、おみやげに持ち帰ったりしました。活動のなかで会話も弾み、貝拾いやバスの車中で楽しそうに話す姿が見られました。



一緒に挑戦したスポーツテスト



三年 「鉛筆立て」作り

日頃は少人数で図工の学習をしています。今回は、多くの友達と机を並べて「鉛筆立て」を作りました。周りで作業する友達が多いと、刺激を受けやすい環境になります。自分の考えがまとまらない時には、作り方を相談し合ったり、完成に近づく作品を見せ合ったりして、感性や技能を高める機会がたくさんある学習に取り組みました。

四年 交流サマーキャンプ

現在、交流サマーキャンプに向けて合同で準備を進めています。七月一日(金)には新島小の四年生が若郷小に来て、一緒にテントを張ったり、料理を作ったり、テントに泊まつたりする予定です。

保護者の皆様はもちろん、地域の皆様もどうぞ若郷小と前浜にお越しいただき、一緒に楽しみください。



「キャンプファイヤーのプログラムは…」

六年 田原遺跡見学

社会科の歴史学習の一環として、山津山川にある田原遺跡の見学をしました。はじめに新島村博物館で、北村武さんから縄文時代の新島の様子やその頃の暮らしについて学習しました。目の前に展示してある田原遺跡から発掘された品物を見ながら、はるか昔の人々の生活に思いをはせました。

次に、実際に田原遺跡を訪れました。この地で人が暮らしていた頃は海が近かったことや、どのようなものを食べていたかな



私にもできそう…。

な発想や作例にたくさん刺激を受けて、作品作りに取り組みました。



「エー、黒曜石は神津島だけにあって…」

どについて、お話をうかがいました。今の田原遺跡からはなかなか想像が難しい、昔の人の暮らしについて、考えを深める絶好の機会となりました。

この他にも「読書郵便」という、読書紹介のカードの交換もしています。このような交流活動を通して、若郷小の子どもと新島小の子どもが、より一層仲よくなり、学習や運動で力を伸ばしてほしいと願っています。

五年 図工交流

新島小の子どもと合同で学習しました。普段とは違った雰囲気の中、ユニーク